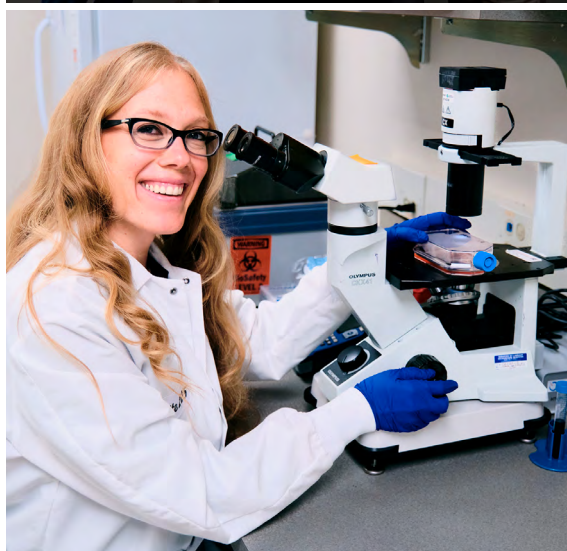


FUJIFILM Holdings Corporation

# INTEGRATED REPORT 2024

**FUJIFILM**  
Value from Innovation





富士フィルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、  
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

## 富士フィルムグループが大切にすること

グループパーパス 企業理念：富士フィルムグループの社会における存在意義

# 地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、  
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、  
世界をひとつずつ変えていきます。

コーポレートスローガン

## Value from Innovation

私たちはどのように行動するのか

### 企業行動憲章

富士フィルムグループは、次の6原則に基づき、国の内外を問わず、事業活動の展開にあたっては、人権を尊重し、全ての法律、国際ルールを遵守し、その精神を尊重します。その上で、活動によって生じる影響に配慮しつつ、イノベーションを通じて持続可能な社会の実現に向けて自主的に行動します。

1. 信頼される企業であり続けるために
2. 社会への責任を果たすために
3. あらゆる人権を尊重するために
4. 地球環境を守るために
5. 従業員が生き生きと働くために
6. さまざまな危機に備えるために

### 行動規範

わたしたちは、事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを重視し、新たな価値創造に挑戦します。ビジネスの利益や他者からの要求がコンプライアンスと衝突するときは、コンプライアンスを優先します。“オープン、フェア、クリア”の精神で臨む、それがわたしたちの基本です。

- ・ 人権の尊重
- ・ 公正な事業活動
- ・ 会社資産・情報の保全、保護
- ・ 環境の保全・保護

私たちはどのように実現していくのか

### 長期CSR計画

## Sustainable Value Plan 2030(SVP2030)

2030年度をゴールとする長期目標であり、富士フィルムグループが持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画です。「事業を通じた社会課題の解決」と「事業プロセスにおける環境・社会への配慮」の両面から、4つの重点分野「環境」「健康」「生活」「働き方」と、事業活動の基盤となる「サプライチェーン」「ガバナンス」における目標を設定し、サステナブル社会の実現に貢献することを目指しています。

### 中期経営計画

## VISION2030

2024年4月、富士フィルムグループは「Sustainable Value Plan 2030」の目標を実現するために、ヘルスケア・エレクトロニクスを中心に成長を加速させる具体的なアクションプランを策定しました。

# CONTENTS

富士フィルムグループパーパス	01
富士フィルムグループが大切にすること	02
編集方針／情報開示体系	04
富士フィルムグループが目指す姿	05

## 01 マネジメントメッセージ



CEO メッセージ 07

代表取締役社長・CEO 後藤 禎一

“More Smiles!” グループパーパスの  
実現に向けて、浸透から実践のステージへ 13



CFO メッセージ 15

取締役・CFO 樋口 昌之

## 02 富士フィルムグループの 価値の源泉

**POINT** 当社が独自技術を進化させながらイノベーションを生み出し続けてきた歴史を振り返り、持続的な企業価値向上の源泉となる資本について説明しています。

事業の全体像	22
グローバルネットワーク	23
イノベーションの進化	24
イノベーションの礎を築いた製品	26
イノベーションを支える独自技術	27
価値創造プロセス	28
イノベーションを生み出し続ける 仕組みと価値の源泉	29

## 03 SVP2030 への ロードマップ

**POINT** ステークホルダーの期待に応え、2030年までの長期目標達成に向けて、中長期的なリスクと機会を見据えた計画の全体像を説明しています。

サステナビリティの基本方針	31
ステークホルダーの期待への対応	32
SVP2030重点課題(マテリアリティ)	33
中長期のリスク・機会とマテリアリティ 環境/健康/生活/働き方	34
過去中期経営計画の振り返り	38
新たな中期経営計画 [VISION2030]の方針	40
VISION2030 業績目標	41

## 04 事業拡大に向けた戦略

**POINT** 各セグメントの戦略と投資計画を通じて、財務的な価値を生み出す事業の取り組みを紹介し、事業拡大への道筋を示しています。

事業別戦略	
ヘルスケア	43
エレクトロニクス	47
ビジネスイノベーション	50
イメーシング	52

## 05 特集 バイオCDMO事業の 軌跡と展望

**POINT** 2030年度の目標達成に向け、当社のバイオCDMO事業が果たす重要な役割について、これまでの実績や技術、事業を支える現場からの声を紹介しています。

バイオCDMO事業が目指す姿	55
バイオCDMO事業の歩みと研究開発体制	56
事業の強み① [Partners for Life]と[KojoX]	57
事業の強み② 業界トップレベルの技術と製造実績	58
バイオCDMOの現場 (FUJIFILM Diosynth Biotechnologies) からのメッセージ	59

## 06 価値創造を支える 非財務資本

**POINT** 中長期的な成長を持続するためには、財務面だけでなく基盤となる非財務資本も重要です。当社の各資本の強みと関連性、強化戦略を説明しています。

研究開発戦略	61
DX戦略	62
知的財産戦略	66
人材戦略(人事部長メッセージ)	69
人権への取り組み	75
責任あるサプライチェーンマネジメント	77
環境への取り組み	79

## 07 ガバナンス

ガバナンス対談	84
新任社外役員メッセージ	88
コーポレート・ガバナンス	89
コンプライアンス・リスクマネジメント体制	97
リスクマネジメント	98
ステークホルダー・エンゲージメント	99
経営体制	100

## 08 データセクション

財務分析と評価	104
連結財務諸表等	105
11年間の財務データ	109
財務ハイライト	111
5年間の非財務データ	112
非財務ハイライト	113
社外からの評価	114
会社概要	115
第三者保証／管掌役員保証	116

### 統合報告書 表紙について

富士フィルムグループの創立90周年を機に新たに制定されたグループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」は、全事業を通じて創ってきたい未来の光景です。持続可能な未来の創出に向けた原動力となる、グループ従業員の笑顔をテーマに表現しました。



# 編集方針／情報開示体系

## 編集方針

本誌は、富士フィルムグループの企業活動に関する情報の中で、特に株主・投資家の皆さまにとって重要度が高い財務情報・非財務情報とともに、イノベーションを軸とした価値創造ストーリーを掲載しています。「ステークホルダーの皆さまに富士フィルムグループが目指す姿をお伝えし、共感いただく」ことを基本コンセプトとし、本統合報告書と「サステナビリティレポート」を連動させて、富士フィルムグループの持続的な成長を目指した取り組みを紹介しています。

## 報告対象期間

財務・非財務データの集計期間は、2023年度（2023年4月～2024年3月）です。活動内容については、2024年4月以降の事業活動も含んでいます。

## 参考にした基準およびガイドライン

IFRS財団:国際統合報告フレームワーク

GRI:サステナビリティ・レポーティング・スタンダード

SASB:サステナビリティ会計基準

経済産業省:価値協創ガイダンス 2.0

環境省:環境報告ガイドライン(2018年版)

本文中に記載の「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



## ●情報開示体系



富士フィルムホールディングス  
コーポレートサイト

▶<https://holdings.fujifilm.com/ja>



株主・投資家情報

▶<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>



サステナビリティレポート

▶<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report>

# 富士フィルムグループが目指す姿

富士フィルムグループは、2017年8月に長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」を発表しました。2030年度をゴールとする長期目標であり、富士フィルムグループが持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画です。このSVP2030の下、2024年4月に公表した中期経営計画「VISION2030」の重点施策を推進し、サステナブル社会の実現にさらに貢献する企業を目指しています。

## サステナブル社会の実現

### Value from Innovation

グローバル規模の環境・社会の課題を  
“イノベーション”で解決する

事業を通じて、社会にポジティブなインパクトを与える

ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、  
社会の期待に適切に応える

長期CSR計画  
SVP2030

#### VISION2030

世界TOP Tierの事業の集合体として、  
世界を一つずつ変え、さまざまなステークホルダーの価値(笑顔)を生み出す

売上高	4兆円
営業利益率	15%以上
GHG排出削減(2019年度比)	50%
ROE	10%以上
ROIC	9%以上

#### VISION2023

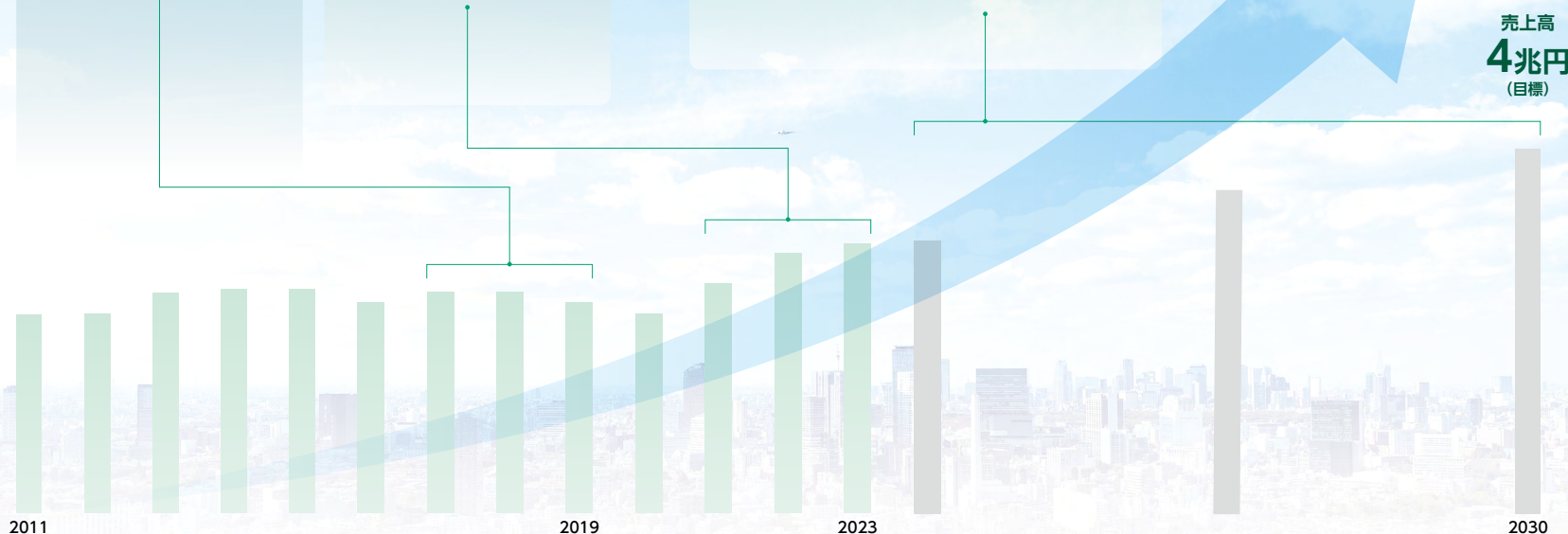
ヘルスケア・高機能材料の  
成長加速と持続的な成長を  
可能とする事業基盤の構築

売上高	2兆9,609億円
営業利益	2,767億円
ROE	8.2%
ROIC	5.6%
GHG排出削減* (2019年度比)	15%

#### VISION2019

事業ポートフォリオの強化と  
次なる飛躍への基盤を構築

売上高	2兆3,151億円
営業利益	1,866億円
GHG排出削減* (2013年度比)	25%



※ GHG排出削減は自社が使用するエネルギー起因(Scope1+2)を記載。